



編集後記

寺田寅彦記念館友の会 編集部

昨年新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響で総会・講演会が1年間凍結されていました。今回、対策をしながら実施することができました。しかし、県外会員は自粛せざるを得なかったのです。幸い、総会報告で「竹崎音吉と寺田寅彦の逸話」としてまとめてくれていますので、内容を知ることができます。

音吉、その父・才吉など竹崎家の紹介、三高ではなく五高へ進学した理由の二つの説、音吉の結婚、熊本五高での生活や学業、漱石とのつながりなど興味深い話題です。寺田東一さん、弥生さんの結婚式や竹崎一枝さんの写真は、とても貴重です。

私の知っている寺田さん

竹崎さんの講演に登場する竹崎一枝さんが『県民クラブ』（昭和28年11月）に発表したものです。一枝さんの実家は寺田邸のすぐ近くだったので、結婚前後の寅彦や夏子をよく知っていて、音吉と結婚してから東京でも縁が続いたそうです。掲載文以外にも興味深い話題がたくさんありますが、高知県立図書館以外で読むことができないのが残念です。

田丸卓郎に関する資料2件と墓所の紹介

『Rômazi no Nippon』dai 672 gôからの転載。田丸は五高の教授でした。音吉は法科でしたから田丸との接点は少なかったのですが、寅彦から人柄を聞いていたでしょう。

寺田寅彦の言葉

中谷宇吉郎『寺田寅彦の追想』に書かれた寅彦の言葉を糧として、県立高校で物理学を教えながら、創意・工夫した物理実験やユニークな写真撮影に取り組みされたことがよく分かります。これからも身近なところでの観察や撮影が続く予感がします。

寅彦が見た風景8

今回は水通町、今の高知市上町にあった町です。ここには病弱な寅彦がよく診てもらった医師・横山董や後に日本における魚類分類学の草分けとなる田中茂穂が住んでいたとのこと。茂穂と寅彦が同級生だったこと、日記に交友が記録されていることに驚きます。

高知市小・中学校科学展覧会

令和3年1月に開催された「高知市小・中学生科学展覧会」の寺田寅彦賞と寺田寅彦記念館友の会会長賞各1点について、要点をまとめています。

秋季研究会

本年度の秋季研究会は、新型コロナウイルスの感染状況等から判断をして、開催しないこととしましたことをご了承願います。